



地域の防火防災活動の強化を目指して 活動備品を整備



軽可搬消防ポンプ一式（上）／応急手当セット（中）／アマチュア無線設備一式（下）

市では、(財)自治総合センターが行う「コミュニティ助成事業」を活用し、女性消防隊や婦人防火クラブの活動を支援するため軽可搬消防ポンプ一式と応急手当セットを購入しました。

これらの備品は、9月30日に邑久町箕輪婦人消防隊に配備しました。今後さまざまな活動に利用する予定です。

また本庄地区自主防災会では、同事業を活用し8月7日に災害時の円滑な避難や防災活動を行う上で重要となる情報伝達のためのアマチュア無線設備一式、炊き出し用の煮炊きレンジなど防災資機材を整備しました。

同自主防災会では8月26日、防災訓練を実施し、起震車による地震体験や水消火器を使った消火訓練のほか、配備した資機材を活用して情報伝達訓練、炊き出し訓練を行い、資機材整備の周知と使用方法を確認しました。

今後、防災の研修会や訓練などの地域防災活動の中で活用していきます。

この事業は、宝くじの社会貢献広報事業の一環として「自分たちの町は自分たちで守る」という基本理念のもと、地域の防火防災活動の充実・強化を図ることを目的として、同財団の助成により実施されるものです。

自主防災組織を結成している団体であれば、宝くじ助成金を利用できます。

日頃から災害に備え、いざというときに素早く行動できる防災意識の高いまちづくりをしましょう。

詳しくは、地域安全推進室へお気軽にご相談ください。

■問い合わせ先 地域安全推進室

☎0869-22-3904



太古の世界を思う 恐竜の化石、骨格模型などの展示

8月24日から9月30日まで、中央公民館（邑久町尾張）で、古生物研究に取り組む林原自然科学博物館の協力により「中央公民館で恐竜に会おう！」と題して、同館が管理する恐竜の化石、骨格模型などの展示を行いました。

圧巻だったのは、全長6メートルにもなるアロサウルスの全身骨格（レプリカ）。来場者らは、迫力のあるその姿を見上げ、太古の世界に思いをめぐらせていました。



アロサウルスの全身骨格（レプリカ）

通り一帯が華やかに 牛窓八朔ひなかつりとしこま作り



しこま作りを楽しむ参加者（左下）／豪華で丁寧な作りのひなかつりを見学（右上）

9月8日から17日まで、牛窓に古くから残る八朔（旧暦8月1日）に、ひなを飾りしこまを供える風習を再現した「牛窓八朔ひなかつり」がしおまち唐琴通り一帯で開催されました。訪れた人は41カ所に飾られたひなかつりを一つ一つ見て回っていました。

また、9日には、しこま作り体験が行われました。市の無形民俗文化財にも指定されているしこまは、米粉で作った餅を彩り鮮やかに山や海の幸を形づくったもので、参加者は、鯛、イカ、タコ、エビ、カボチャ、ウサギなど、思い思いのしこまを作っていました。

いつまでもお元気で 廣田チヨコさんが満100歳に

9月27日、満100歳を迎えた廣田チヨコさん（牛窓町鹿忍）のお祝いに、土井和子保健福祉部長らが、入所している施設を訪問しました。廣田さんは家族や職員に囲まれ、「皆さんありがとうございます」と大きな声であいさつをされていました。

散髪はいつも家族にしてもらい、その間はずっとおしゃべりをしているという明るい性格の廣田さんは、若い頃から世話好きで、長年仲人を務め「縁組をしたどの夫婦も幸せに過ごしていることがうれしい」と話していました。

これからもますます元気で過ごしてください。



お祝い状が贈られた廣田さん（写真右）

一日救急隊長として啓発活動 行幸幼稚園教諭の寄玉さん

9月11日、行幸幼稚園教諭の寄玉理央さんが一日救急隊長を務めました。

寄玉さんは消防本部で救急技術訓練を見学。その後、行幸幼稚園に移動し、「病气やけがをしている人がいたら助けてあげられますか」などと質問を交えながら、園児らに救急業務について、説明しました。

また、市内の商業店舗前でも、訪れた人にパンフレットなどを配布して救急車の適正利用を呼び掛けるなどして、救急業務に対する市民の理解を深めるとともに応急手当の重要性について普及啓発を行いました。



救急車を見学する園児らとふれあう（左下）／市内で啓発活動（右上）